

各位

会社名 桂川電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 正 禮
(コード番号 : 6416 東証スタンダード)
問合せ先
役職・氏名 常務取締役 朝倉 敬 一
電 話 03-3758-0181

令和7年3月期 連結・個別業績予想値と実績値との差異及び営業外費用の計上に関するお知らせ

記

令和7年3月期の業績予想値と本日公表の実績値との差異及び営業外費用の計上に関しまして下記のとおりお知らせいたします。

1. 業績予想値と実績値との差異について

令和7年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益 (単位:円)
前回発表予想 (A)	6,200	△ 280	△ 220	△ 270	△ 176.24
実績値 (B)	6,168	△ 369	△ 358	△ 404	△ 263.80
増減額 (B-A)	△ 31	△ 89	△ 138	△ 134	-
増減率 (%)	△ 0.5	31.9	63.0	49.7	-
ご参考: 前期実績 (令和6年3月期)	6,258	13	188	184	120.35

令和7年3月期 個別前期実績値と当期実績値との差異 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (単位:円)
前期実績値(令和6年3月期) (A)	4,381	37	220	145	95.24
実績値 (B)	3,332	△ 43	△ 14	△ 40	△ 26.55
増減額 (B-A)	△ 1,048	△ 80	△ 234	△ 186	-
増減率 (%)	△ 23.9	-	-	-	-

2. 差異の理由

(1) 連結

連結(当社グループ)におきましては、通期の連結売上高は前回予想の62億円を0.5%下回る61億68百万円となりました。

営業損益は国内外での企業間価格競争の激化による販売価格の下落もありましたが、様々な価格高騰の影響を受けて売上原価、販売費及び一般管理費は悪化し、前回予想の2億80百万円の営業損失から3億69百万円の営業損失、経常損益は営業外費用に為替差損26百万円を計上したことなどから、前回予想の2億20百万円の経常損失から3億58百万円の経常損失、親会社株主に帰属する当期純損益は前回予想の2億70百万円の親会社株主に帰属する当期純損失から4億4百万円の親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

(2) 個別

個別におきましては、前期より回復を見込んでいた北米及びアジアへの売上が計画に大きく届かず、前期売上43億81百万円を10億48百万円下回る33億32百万円となりました。営業損益は様々な価格高騰の影響を受けて、前期37百万円の営業利益から43百万円の営業損失となりました。経常損益は前期2億20百万円の経常利益(為替差益1億35百万円)から当期は14百万円の経常損失(為替差損11百万円)、当期純損益は前期1億45百万円の純利益から当期40百万円の当期純損失となりました。

3. 営業外費用(為替差損)の発生

連結におきまして26百万円、個別におきまして11百万円、それぞれ為替差損を計上しており、内容につきましては、主に令和7年3月末時点において、当社グループが保有する外貨建債権債務を同日の為替相場で評価替えしたことにより発生した評価差額等であります。

4. 業績への影響

上記の営業外費用(為替差損)につきましては、本日開示の「令和7年3月期決算短信[日本基準](連結)」に織り込み済みであります。

以上